

体育科の学習指導における「平等」の内容とその達成方法

人間科学部
スポーツ健康科学科
教授



黒川 哲也

研究シーズの紹介

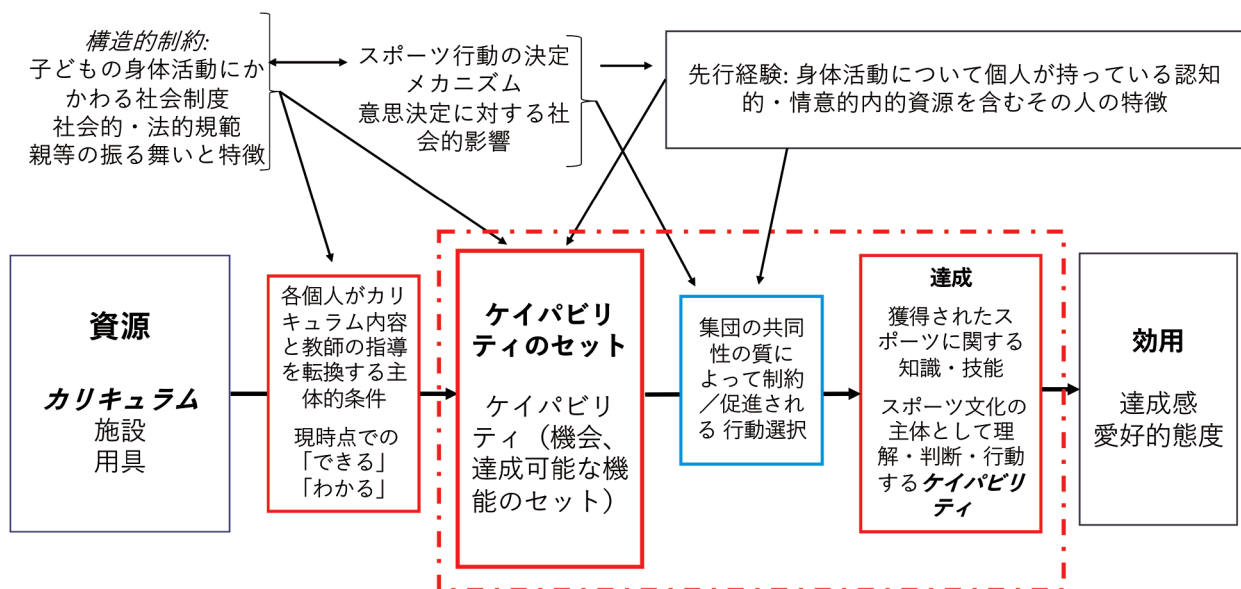
これまでの体育授業は、スポーツを「する」ことや体力の向上に主眼が置かれてきました。ところが、近年では、市民のスポーツとの関わり方が「みる」「ささえる」「うみだす」など多様化してきています。体育授業は、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現していくための基礎的教養を、すべての子どもた

ちに「平等に」保障することを課題とするようになったのです。本研究は、すべての子どもたちに「平等」に保障すべき教養（リテラシー）の内容とそれを保障するための学習指導の方法を明らかにすることを目指しています。



学びの「平等」

- 「深い学び」を創り出す方法が明らかにされます。
- すべての子どもが確かな学力を身につけるための方法を示します。



期待される活用シーン

● 体育科において「主体的・対話的で、深い学び」をどのように実現するか？



学びの「3C: conscious自覚的; cooperative協同的; critical批判的」を軸にした体育科の学習指導法

● 様々な「差異」をもつ子どもたちを対象にした体育授業をどのように構成するか？



子どもたちに「平等」に保障すべきスポーツに関するリテラシー



その他の研究テーマ

- 体育科における児童生徒の学びの実態に関する研究
- スポーツを通じて育てるべき現代的教養（リテラシー）に関する研究
- 体育科のカリキュラム構成に関する研究